

令和7年度事業報告書

(期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日)



目 次

◆総括	2
◆トピックス	2
◆法人経営	3
◆各種会議および委員会活動	10
◆虐待および身体拘束の状況	13
◆財務ハイライト	15
◆経営分析参考指標	16
◆職員の状況	17
◆事業所の状況	20
◆事業の開始および廃止	23
◆新規建設・大規模修繕等	23
◆事故の発生状況	23
◆法人研修	26
◆地域における公益的な取組の状況	27
◆各事業部からの報告(別紙)	28

※令和7年度社会福祉法人虹の会事業報告については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

社会福祉法人 虹の会

◆総括

少子高齢化の進展や人口減少の加速、さらには長引く物価高騰など、私たちを取り巻く社会情勢は厳しさを増しています。このような経営環境下において、利用者の皆様へ質の高い福祉サービスを安定的に提供し続けることを最優先とし、健全な法人経営に努めてきました。特に、福祉の根幹を支える「人財」の確保については大きな課題ではありますが、処遇改善や職場環境の整備を通じ、持続可能な組織体制の構築に努めています。

本年度は、第3期中期経営計画の2年目として、経営ビジョン「選ばれる法人・選ばれる事業所」の実現に向けた取り組みを推進してきました。令和8年度の法人設立30周年を目前に控え、これまでの歩みを振り返ると共に新たな虹の会を広く発信するブランディング強化に取り組んでいます。各プロジェクトを中心に職員の一体感の醸成を目指し準備を進めているところです。

また、事業の協働化については、令和8年度の連携・協働プロジェクト「ふくしデザインセンターたかしま」を本格稼働に向けた検討を重ね、事務局会議や若手主体の「アンダー35企画室」を始動させる具体的計画を策定し、5法人の経営資源を持ち寄る多角的なネットワークの基盤が整いました。今後も各法人が「共創するパートナー」として、地域共生社会の実現に向けた実践に参画してまいります。

経営状況については、法人全体として概ね予算通りの収入を確保することができており、順調に事業を遂行できたものと総括します。

◆トピックス

1 ブランディング戦略

虹の会設立30周年に合わせブランドイメージを一新。選ばれる法人・選ばれる事業所を目指し、虹の会の文化や独自性を統一したイメージやデザイン、わかりやすいメッセージで 内部外部へ発信しました。具体的には法人ロゴのリニューアル、虹の会いろはBOOKの作成、ホームページをリニューアルしました。また、新たに打ち出したキャッチコピー「福祉 をたがやし『おたがいさま』のつながりを育てる」には、制度というかたく閉じた土壌をほぐし、誰もが自分らしくいられる「文化」としての福祉を地域にひらいていく決意を込めました。これにより法人の独自性が可視化され、職員の帰属意識向上と採用ブランディングの強化、地域における認知度拡大を図ります。

2 事業承継

新旭地域を中心に多角的な福祉活動を展開する「元気な仲間」との事業承継の契約を締結しました。承継の目的は、虹の会が掲げる「全世代型サービス提供」への転換を具現化することです。活動拠点である新旭地域での福祉向上に寄与するとともに、利用者の高齢化という喫緊の課題に対し、介護保険事業を軸とした柔軟な事業展開を進めていく土台が整いました。また、介護保険分野の承継に先立ち放課後児童育成健全事業を承継し令和8年4月より2拠点で学童保育の事業を開始する準備を進めました。

この承継により、児童から高齢者までをシームレスに支える包括的な支援体制が強化されます。両法人の専門性とリソースを融合させることで、障がいのある方だけでなく地域住民の多様なニーズに対応できる体制を構築し、相乗効果によるサービスの質の向上と、持続可能な経営基盤の確立を目指します。

◆法人経営

1. 役員会等

適切で透明性の高い法人経営を推進するため、経営の決断・執行・監督の充実に努め、以下の役員会等を開催しました。

(1) 理事会

回	開催日	議案	可否	出席状況
1回	6月8日	令和7年度資金運用計画 令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)事業報告書、計算関係書類及び財産目録承認 令和4年度～令和8年度社会福祉法人虹の会社会福祉充実計画(変更) 令和7年度補正予算書 理事及び監事選任候補者推薦 評議員選任候補者推薦 評議員選任・解任委員選任 評議員選任・解任委員報酬 令和7年度第1回評議員会招集 令和7年度第1回評議員選任・解任委員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	6／7 2／2
2回	6月25日	理事長選定 業務執行理事選定 資金運用責任者選定 理事長報酬	可決 可決 可決 可決	8／8 2／2
3回	8月27日	定年再雇用職員就業規則一部変更 嘱託職員給与等支給規則一部変更 短時間職員給与等支給規則一部変更	可決 可決 可決	8／8 2／2
4回	11月3日	事業承継同意書の締結に関する件	可決	8／8

		定款一部変更 嘱託職員就業規則一部変更 短時間職員就業規則一部変更 定年再雇用職員就業規則一部変更 会社役員賠償責任保険加入 令和7年度補正予算書 令和7年度第2回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	2/2
5回	2月8日	事業承継に関する契約締結 元気な仲間事業部就業規則制定 元気な仲間事業部給与等支給規則制定 経理規程一部変更 公印管理規程一部変更 施設長等選任	可決 可決 可決 可決 可決 可決	7/8 2/2
6回	3月14日	組織及び職務権限規程一部変更 令和8年度資金運用計画 令和7年度補正予算書 令和8年度事業計画 令和8年度収支予算書(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで) 理事選任候補者推薦 令和7年度第3回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	7/8 2/2

◎決議の省略

※理事会の決議があったものとみなされた日

令和7年9月24日

※理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第18号議案 育児休業及び介護休業等に関する規則一部変更

◎関連当事者間の取引

※当法人は、社会福祉法人会計基準により公表すべき関連当事者間の取引はありません。

(2)評議員会

回	開催日	議案	可否	出席状況
1回	6月25日	令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) 事業報告書、計算書類(貸借対照表および収支計算書) および財産目録承認 令和4年度～令和8年度社会福祉法人虹の会社会福祉 充実計画(変更) 令和7年度補正予算書	可決 可決 可決	7/8 2/2

		理事及び監事選任	可決	
2回	11月13日	定款一部変更 令和7年度補正予算書	可決 可決	9／9 2／2
3回	3月24日	令和7年度補正予算書 令和8年度事業計画 令和8年度収支予算書(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで) 理事選定	可決 可決 可決 可決	8／9 1／2

(3)評議員選任・解任委員会

回	開催日	議案	可否	出席状況
1回	6月10日	評議員選任	可決	4／5

2. 監査

(1)内部監査

事業および会計の執行を監査し、その結果を報告および公表することにより、法人の健全かつ透明性の高い運営に資することを目的に監事による内部監査を実施しました。

回	開催日	内容	監査意見
1回	5月23日	令和6年度事業報告・計算関係書類および財産目録の監査	・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実認められません。 ・計算関係書類および財産目録については法人の財産、収支および純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。
2回	10月22日	令和7年度事業中間報告等・会計中間状況等の監査	・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実認められません。 ・計算書類については法人の財産、収支および純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に処理、表示しているものと認めます。

口頭指示および改善報告

事項	口頭指示	改善報告	結果
事業(活動)状況、施設・事業の運営管理状況	防災訓練について 職員向けにスマートフォン、LINE等のアプリを活用した緊急連絡網の訓練をすること。	管理職を対象に夜間に地震が発生した想定に基づき、実働訓練を実施しました。訓練では、管理職が指定の拠点(各ホーム)へ参集し、利用者の安否確認および施設被害の状況把握・報告を行う一連の手順を確認しました。なお、情報共有ツールとして「ラインオープンチャット」を活用しました。	終結
資産の管理状況	借地管理について、一覧表でまとめられているが、更新漏れなどないよう毎年更新分と区分して管理すること。	期限ごとに区分した一覧表を作成しました。	終結
会計帳簿の状況	未収金ならびに立替金勘定において、過年度計上の残高が残存しているため適切な会計処理と再発防止策を講じること。	過年度計上の未収金・立替金の明細を照合し、勘定科目への振替、消込を完了しました。仮勘定台帳に日付を記載し、経過期間を把握できるようにしました。	終結
会計出納・財務の状況	未払金、未収金、預り金勘定において二重支払い分が計上されているため、再発防止に向けた体制整備を検討すること。	仮勘定台帳に日付や金額を記載することで二重払いが削減しました。また、毎月定額で移動させるものは、一定期間分をまとめて移動するようにしました。	終結
会計出納・財務の状況	小口現金の金銭残高種別表に合計金額の相違や金種別明細残の不一致があった。日々の作成及び検証を励行すること。	管理職会で日々の作成および検証について周知しました。また、抜き打ちで拠点を訪問し小口現金等について確認しました。	終結
会計契約状況	ぱれっとの当初計画から削減した消雪設備等の今後の対応も検討し、適切な課題対応に取り組むこと。	消雪設備については令和8年度に設置します。	終結
会計資産の管理状況	取得したといろの隣接地の適正な管理運用を図るため、駐車場以外にも有効な活用を検討すること。	第4期中期経営計画の作成段階において、といろ隣接地の有効活用について検討します。	継続
その他	職員安否確認システムの導入を検討すること。	BCP(事業継続計画)の職員参集基準および安否確認についてはシステム導入の必要性を含め検討しています。	継続

その他	今後、人件費が高騰する中で更なる経営改善に取り組むこと。中でもぱれっとは、事業費に占める人件費が顕著であり利用率の増加に努めること。	年間を通して収支差額の向上を意識した経営改善に取り組みました。人件費率も適切に推移しています。また、ぱれっとについては、令和8年度新規利用者の契約が見込まれています。	終結
その他	市内の動向も見極め、障害者だけでなく高齢者も含めた支援策の連携にも配慮すること。	NPO法人元気な仲間の事業を承継する計画の中で高齢者に対する支援を展開します。	終結
その他	利用者預かり金の不適切な管理実態が発覚したとの報告を受け、内部管理体制の再点検を始め、具体的改善策を早急に講じること。	金銭管理マニュアルの作成と職員への周知を行いました。管理状況確認をその都度と毎日実施するようにしました。	終結
その他	事業報告については、項目に応じて簡潔に具体的な表現に努めること。また改善必須項目については、終結にむけて速やかな対策に取り組むこと。	事業報告について具体的な表現に努めました。また、改善項目についても順次改善策を実行しています。	終結
その他	BCP対応について、避難訓練までで終わらせるのではなく、保護者への引渡しまでの心構えを共有すること。また平日の開業についても職員間で意識向上に努めること。	各拠点BCPについて職員と共有しました。日々については継続的な防災訓練を実施しています。	終結

(2) 行政監査

日 時: 令和8年1月20日

所轄庁: 高島市

対 象: 法人

種別	指示事項等
文書指摘	・なし
口頭指摘	【法人の管理、運営について】 ・法人ホームページ上に掲載されている定款が最新のものに更新されていなかった。外部への正確な情報開示を担保するため、改正後の速やかな更新を徹底されたい。
改善報告	・リニューアルしたホームページ上に最新の定款を掲載しました。
助言その他	【法人の管理、運営について】 ・「施設の管理者」として選任されている理事2名のうち1人は出向先の他法人の施設長であり、要件を満たしていないため、自法人が運営する施設の管理者を理事に選任され

	たい。併せて、もう1人は施設の管理者ではない事務局長が選任されているが、今後、事務局長を理事に選任する場合は、実態に即して「経営に関する識見を有する者」の区分で選任するなど、役員構成の適正化を図られたい。 【会計、経理について】 ・会計書類において、組織改編に担当が不在となった欄が残存していた。今後、当該欄が不要である場合は、削除も含め見直しを検討されたい。 【その他】 ・令和6年度の事業報告書に「高島・安曇川地域包括支援センター」の記載があったが、当該センターは別法人が運営している。虹の会が運営しているとの誤解を招くおそれがあるため、今後は、記載内容を確認のうえ、適切に修正されたい。
改善報告	・「施設の管理者」としての選任基準は第1種社会福祉事業に求められる要件であることを含め、次回の役員改選時に選出区分について検討します。 ・様式を見直し会計書類上の不要欄については削除しました。 ・「高島・安曇川地域包括支援センター」の事業報告については適切に処理します。

◎各拠点に対する行政監査はありませんでした。

3. 第三者委員全体会および事業所訪問

虹の会が提供する福祉サービスおよび苦情の対応が適切であったか等の検証および助言を受け、意見交換等を行うため4月7日に第三者委員全体会を開催しました。令和6年度下半期において発生した苦情の報告と第三者委員による上半期事業所訪問での気付き等を中心に意見交換を行いました。

(1) 第三者委員全体会

回	開催日	内容	出席状況
1回	4月7日	○事業所訪問活動報告 (訪問日) ・令和7年3月3日(月) 10:30~12:00 ハーモニー ・令和7年3月6日(木) 10:00~12:00 大地 ・令和7年3月13日(木) 13:00~15:00 ドリーム ○各事業所苦情受付の検証等 ○令和7年度上半期の取り組み事項等	3/3
2回	10月23日	○事業所訪問活動報告 (訪問日) ・令和7年9月29日(月)	3/3

		15:40～17:00 ぱれっと ・令和7年10月1日(水) 10:00～12:00 大地 ・令和7年10月2日(木) 17:00～18:30 という ○各事業所苦情受付の検証等 ○令和7年度下半期の取り組み事項等	
--	--	---	--

(2) 苦情内容と対策

事業所	内容	対応・解決策
本部事務局	今津浜通りの制限速度30道路を虹の会の職員が速度超過で走行していた。	浜通りの走行について徹底する旨、申し出者に伝える。翌日管理職会にて理事長より苦情内容について周知。法人として公用車および私用車に関係なく申し出のあった道路を走行することを禁止、管理職より全職員へ通達した。
事務センター	新旭駅前の横断歩道において子どもが渡ろうとしていたが、一時停止することなく虹の会の車両が走行した。	管理職へ苦情内容を周知し、送迎時等の安全運転および横断歩道走行時の交通ルールを再度遵守するよう指示した。また、理事長より全職員向けに安全運転に関する動画を発信した。

※令和7年度苦情発生件数2件

4. 中期経営計画評価委員会

第3中期経営計画について自主的・自立的な経営の確立と連携と協働による柔軟な福祉の展開を図るため、令和6年度下期および令和6年度評価、令和7年度上期を評価するため全2回の評価委員会を開催、各項目に沿った報告に対してそれぞれ評価委員より意見を求め、評価を取りまとめました。

また、令和6年度の年度評価をホームページで公開しました。

回	開催日	内容	出席委員
1回	4月24日	・令和6年度下期取り組み報告および評価 ・令和6年度評価	9／9
2回	10月31日	・令和7年度上期の取り組み報告および評価	9／9

5. 資金運用会議

資金の安全確実かつ効率的な運用に資することを目的に、(1)資金運用にかかる計画に関すること、(2)有価証券(預貯金除く)にかかる売買に関すること、(3)その他、資金運用責任者が指示した事項について審議する資金運用会議を開催しました。

会議において、運用の大前提として「安全性の確保」を掲げ、不測の事態に備えた流動性を重視しつつ、低金利環境下での収益性向上を目指すことを確認しました。令和8年度の資金運用計画では、従来の預貯金に加え新たに「社債」への投資を盛り込み、多様な金融商品への分散投資を検討します。実施にあたっては、格付け等の客観的指標に基づく情報収集とリスク管理を徹底し、短期的な変動に左右されない長期的な視点で着実な資産形成を図ることを確認しました。

回	開催日	内容	出席委員
1回	4月9日	・令和7年度資金運用計画 ・今後の資金運用の考え方	4／5
2回	10月8日	・資金運用について ・資金運用商品の選定	5／5
3回	3月3日	・令和8年度資金運用計画 ・今後の資金運用の考え方	4／5

※大和証券担当者2名(オブザーバー)

◆各種会議および委員会活動

1. 各種会議

法人の経営方針・その他経営に関する事項および人事・人事評価・給与等を協議するため、また各拠点間連携をスムーズに図り事業を推進するため、情報共有・現状把握・課題検討等を以下の会議で実施しました。

会議名	回数
運営委員会	20回
人事給与等委員会	4回
管理職会	14回

※理事長職務執行状況および業務執行理事職務執行状況参照

2. 委員会活動

(1)コンプライアンス委員会

目 的

コンプライアンスを推進するための方策の決定、違反行為に対する対応策および再発防止の検討、コンプライアンス意識の向上を図るための研修等を実施する。

経過および成果

本委員会では、事業計画に沿って年間3回の会議を開催し、各事業所におけるリスク情報の早期把握と共有に努めました。その結果、令和7年度においてコンプライアンス違反の疑いがある事案の報告はありませんでした。
具体的な取り組みとしては、IT顧問による「個人情報保護法」に関する全職員向けオンライン研修や、管理職向けおよび全職員向けのハラスメント研修を実施し、組織全体の意識向上を図りました。また、管理職によるコンプライアンス・5Sチェックシートの活用や、各拠点への巡回監査（小口現金の確認および固定資産の実査）を通じ、業務執行の適正性を確認しました。

(2)リスク管理委員会

目 的

リスク管理に関して、利用者の安心・安全を確保すると共に、災害・感染BCP、事故防止、個人情報などの危機管理体制を構築する。

経過および成果

リスクマネージャー会議を1回、定例会議を6回開催しました。リスクマネージャー会議では、インシデントメモの活用と事故予防の視点を啓発しました。
定例会議では管理職による、利用者の安心安全や危険箇所、個人情報等のリスク状況の確認を自身が管理している事業所外の巡回チェックを検討して実施しました。また、管理職の災害時におけるラインオープンチャットを利用した連絡訓練と実動訓練を実施しました。12月には、グループホームというにおいて、夜間避難訓練を実施しました。

(3)虐待防止委員会

目 的

事業所内における虐待防止を図るため、職員の虐待防止意識の向上や虐待防止の取り組みを実施し、虐待のない施設環境づくりを目指す。

経過および成果

令和7年度は定例会議を6回、臨時会議を2回実施しました。令和7年6月に心理的虐待認定がなされ、改善計画に基づいた取り組みを実施しています。法人全体研修での委員会の取り組み周知・心理的虐待のロールプレイ研修実施・管理職の虐待防止研修受講等、様々な取り組みを行いました。なお、認定された事案は令和8年2月に終結をいたしました。

※詳細は虐待および身体拘束の状況

(4)採用委員会

目 的

法人が求める「将来的に活躍できる人材」の獲得および採用活動を通じた職員育成、他法人連携を図る。また、広く福祉人材の育成に資することにより、法人のブランディングおよび採用活動を推進する。

経過および成果

定例会議を毎月実施し、学校訪問やインターンシップ企画・運営に注力しました。学校訪問については計5校を実施しましたが、具体的な連携や情報獲得には至らなかったため、次年度は「就活ルームtugumi」を活用し、学生と直接対話できる場へのアプローチを強化します。インターンシップは計4回開催し、延べ8名が参加、内1名が採用に至りました。また、合同就職説明会へは8回出展し、嘱託職員及び短時間職員として計4名を採用することができました。

◎中期経営計画推進プロジェクト

目 的

中期経営計画推進に必要な委員会およびプロジェクトを随時立ち上げ、中期経営計画の推進を図る。

経過および成果

令和7年度新人研修・階層別研修の受講者の選定や内部研修の内容について検討・準備を行いました。
第4期中期経営計画策定に向けて大地・ドリーム拠点の管理職に事業構想の提案(計4回)をしてもらいました。現状報告と中期の方向性について提案し、提案に対しての本部からの課題に対応しました。

◎ブランディング戦略プロジェクト

目 的

ブランディング戦略コア会議を定期開催し、「30周年」「インナーブランディング」「採用・SNS」「イベント」のプロジェクトを立ち上げ、選ばれる法人・選ばれる事業所を目指し独自性を内部および外部へと打ち出す。

経過および成果

プロジェクト別で会議を設け、内容を進めていきました。「30周年」では主に祝賀会について内容を検討し、上期に集中して会議を行いました。「インナーブランディング」ではクレド作成を検討しており、管理職・職員からのアンケートをもとに、検討をしています。「採用・SNS」ではこれまでの動きに加え、外部関係者(就活ルームtugumi、社協等)との関わりを深めました。「イベント」では11月と3月にイベントを実施し、地域の方や関係者へ虹の会を知ってもらう機会を設けました。全体を通しては、虹の会いろはBOOK製作・新たなHPの更新・法人ロゴマーク刷新など、令和8年度の30周年に向けて、大きく変化が見られた1年となりました。いずれの会議体についても毎月会議の場を設け、検討を進めています。

◎実践報告プロジェクト

目 的

事例を通し学びを深め、取り組んだ実践を法人内外に向けて報告、学びによる支援のプロ集団化を目指す。

経過および成果

2月6日に実践報告会を開催し、当日は5事業所の報告を行いました。その他の事業所については、録画をし、報告した5事業所を含めて、法人職員へ動画配信を行いました。支援の実践として、どの事業所においても長年積み上げられてきた支援の知識、経験、利用者のアセスメント等により、支援スキルやチーム力が向上していると感じています。
外部参加者は少なく、報告方法、周知方法、開催時間等を検討する必要があります。

◆虐待および身体拘束の状況

1. 虐待の状況

◎障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律に基づき、虐待認定を受けた件数は1件でした。

<虐待認定について>

* 認定結果「心理的虐待」:職員が発した言動が著しく利用者を傷つける言動であった。

* 改善計画内容

- ①支援者の障害者支援の知識が不足している。
- ②支援計画書について、職員ごとの理解に差があり、利用者への支援にばらつきがある。
- ③日常的に心理的虐待に近い事象がある。
- ④直接支援にあたる職員の管理監督が不十分であり、利用者の人権への配慮に欠けた不適切な支援が長時間にわたり容認された。

2. 身体拘束の状況

事業所名	件数	内容等
アイリス	7件	A利用者4件、B利用者2件、C利用者1件に対する身体拘束。A利用者については自身のストレスも含めて、気持ちが高揚し、他害に繋がる恐れがあったため行動制止をした。B利用者については、飛び出しや不穏による他害を防ぐため行動制止をした。C利用者については、不穏による飛び出しが見られたため、安全確保のため行動制止をした。
大地	1件	周りの騒がしさが原因で不穏となり、自傷による怪我および物損が懸念されたため行動制止をした。
ハーモニー	1件	不穏による自傷および他害行為に繋がる可能性があったため、行動を制止した。
わになろう	3件	A利用者2件、B利用者1件に対する身体拘束。A利用者は不穏による自傷および他害・破壊行為が見られたため行動制止をした。B利用者は備品に登るといった危険行為があったため行動制止をした。

※当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあり、それらについては身体拘束適正化委員会において、情報共有をしたうえでその必要性等の検討を行い、身体拘束の減少を目指して支援しています。

上記12件の身体拘束につきましても、安全確保のための行動であり、3要件に当てはまる ということを確認しました。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人又は他の利用者等の生命、身体、権利が危険にさらされる可能性が著しく高い
- 非代替性 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する方法がない
- 一時性 身体拘束その他の行動制限が一時的である

【虐待防止取り組み報告会】

法人内で設置された虐待防止委員会での取り組み内容について年に2回、報告会を実施しています。虹の会第三者委員3名と家族会代表者1名に参画を依頼し、利用者支援や職場環境、職員育成等に対して様々な意見や助言を受けています。

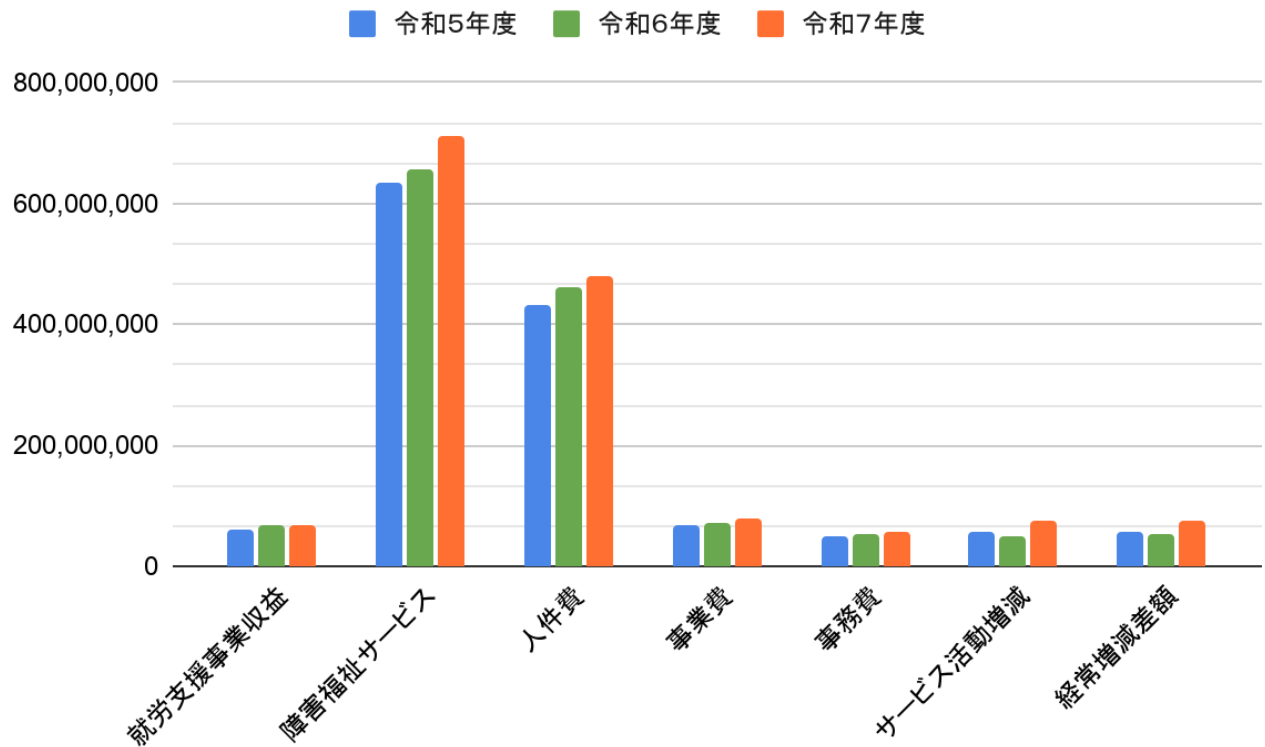
回	開催日	内容
1回	4月7日	・令和6年度下期取り組み報告 - 虐待防止委員会 - 外部研修 - 虐待認定について ・意見交換
2回	10月23日	・令和7年度上期取り組み報告 - 虐待防止委員会 - 虐待終結・虐待認定について ・意見交換

◆財務ハイライト

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
--	-------	-------	-------

介護保険事業収益	316,905	481,944	474,533
就労支援事業収益	59,479,000	68,599,088	68,133,656
障害福祉サービス等事業収益	635,693,344	657,745,516	712,243,962
人件費	430,485,409	461,350,441	480,621,841
事業費	67,112,387	71,987,322	77,703,285
事務費	51,443,531	52,455,347	56,593,990
サービス活動増減差額	56,446,011	50,652,302	73,801,582
経常増減差額	58,417,597	52,111,326	76,879,983



◆経営分析参考指標

指標銘		算式	指標の視点	参考指標※2	令和5年度	令和6年度	令和7年度
サービス活動増減差額比率 (営業利益率)		$(\text{サービス活動増減差額} \div \text{サービス活動収益}) \times 100$	収益性 プラスである こと	1.82%	8.1%	6.8%	9.3%
経常増減差額率 (経常利益率)		$(\text{経常増減差額} \div \text{サービス活動収益}) \times 100$		2.05%	8.4%	7.0%	9.6%
人件費率		$(\text{人件費} \div \langle \text{※1} \rangle) \times 100$	合理性 費用	66.8%	67.3%	68.7%	66.3%
経費率		事業比率＋事務比率		25.5%	18.5%	18.5%	18.5%
	事業費率	$(\text{事業費} \div \langle \text{※1} \rangle) \times 100$		15.0%	10.5%	10.7%	10.7%
	事務費率	$(\text{事務費} \div \langle \text{※1} \rangle) \times 100$		10.5%	8.0%	7.8%	7.8%
減価償却費率		$(\text{減価償却費} + \text{国庫補助金等特別積立金取崩額} \langle \text{マイナス値} \rangle) \div \text{サービス活動収益} \times 100$		6.6%	4.7%	4.3%	4.5%
流動比率		$(\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	短期安定性 200%以上	330.1%	429.7%	477.5%	472%
純資産比率		$(\text{純資産} \div \text{資産の部合計}) \times 100$	長期安定性 高いほど良い	73.7%	90.9%	91.1%	90.8%
固定長期適合率		$(\text{固定資産} \div (\text{純資産} + \text{固定負債})) \times 100$	長期安定性 100%以下	82.7%	78.8%	77.4%	75.6%
事業活動資金収支差額率		$(\text{事業活動資金収支差額} \div \text{事業活動収入}) \times 100$	安定性 資金繰り	6.8%	14.0%	11.8%	14.1%

※1 サービス活動収益計－就労支援事業収益

※2 社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2024年度版)全国平均(WAM NET)

◆職員の状況(令和8年3月31日現在)

1. 人員表

(1)事業所別職員数

	正職	嘱託	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
本部事務局	2	0	1	0	0	3	2	1
事務センター	2	0	2	1	0	5	1	4
わになろう	3	2	4	0	0	9	3	6
ひまわり生活の家	2	0	9	1	1	13	1	12
といろ	7	3	7	1	0	18	5	13
虹	2	1	1	0	0	4	0	4
コンパス(ホップ)	7	3	4	0	0	14	5	9
ハーモニー	9	2	10	1	1	23	6	17
アイリス	7	0	4	0	0	11	6	5
大地	5	3	3	0	0	11	6	5
あんです	2	2	5	1	0	10	1	9
だんだん	5	4	1	0	0	10	4	6
マーブル	1	2	1	1	0	5	3	2
ぱれっと	2	1	0	0	0	3	1	2
計	56	23	52	6	2	139	44	95

(2)職員数の推移

	正職	嘱託	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
令和5年度	51	24	50	6	2	133	52	81
令和6年度	55	24	45	10	2	136	48	88
令和7年度	56	23	52	6	2	139	44	95

(3)職員の状況推移

	正職員			非正職員		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
職員比率	40.5% (51/126人)	44% (55/125人)	42.4% (56/132人)	59.5% (75/126人)	56% (70/125人)	57.6% (76/132人)
平均勤続年数	10年4ヶ月	10年7ヶ月	11年1ヶ月	6年9ヶ月	7年6ヶ月	7年6ヶ月
平均年齢	41.35歳	41.30歳	42.07歳	55.34歳	56.35歳	56.77歳

※アルバイト6名、宿直職員(短時間)1名除く

(2) 時間外勤務の状況

	正職員	非正職員
令和5年度月平均時間外勤務	4.9時間	1.3時間
令和6年度月平均時間外勤務	4.4時間	1.2時間
令和7年度月平均時間外勤務	5.1時間	0.7時間

(3) 有休取得の状況

	正職員	非正職員
令和5年度平均取得率	79.9%	86.1%
令和6年度平均取得率	84.7%	78.1%
令和7年度平均取得率	82.1%	85.3%

※年度付与数に対する取得率(最大20日付与)

(4) 新卒採用活動の状況(採用委員会の活動含む)

	採用者数
令和3年度卒	3名
令和4年度卒	3名
令和5年度卒	3名
令和6年度卒	2名

令和7年度卒	1名
--------	----

※新規採用者の定着率91.6%(令和3年度～令和7年度卒)

2. 障害者雇用率

◎令和5年度	2.90 %	3名
◎令和6年度	3.98 %	4名
◎令和7年度	2.90 %	3名

3. 職員アンケート

第3期中期経営計画(2024-2026)では「法人理念、中期経営計画に基づき、経営方針や人材育成方針などの浸透を図る事」が3か年の取り組みの一つとして掲げられています。第3期中期経営計画より、職員へのアンケート内容を中期経営計画に沿った内容に刷新し、年度末にアンケート調査を実施しました。

アンケートは正職員全56名中44名の回答(1等級15名、2等級11名、3等級10名、4等級8名)で回答率は78.6%でした。アンケート結果では、理念や権利擁護への意識は全等級で高く、取り組み内容が浸透していると判断できる一方で、等級間で経営戦略の理解に乖離があり、特に2等級のキャリア目標の喪失や疲弊が課題として浮き彫りとなりました。令和8年度もアンケート結果を踏まえ、法人理念、中期経営計画等の浸透および職員育成、職場環境の改善に取り組めます。

◆事業所の状況(令和8年3月31日現在)

1. 事業所(1)

事業所名	年度	定員 (名)	契約者数 (名)	平均年齢 (歳)	平均区分	平均稼働率 (%)
ひまわり 生活の家 (共同生活援助 介護サービス包括型)	令和5年	30	26	48	3	73.8
	令和6年	30	26	49.3	3.1	76.2
	令和7年	30	25	51.1	3.1	74.5
といろ (共同生活援助 日中サービス包括型)	令和5年	10	10	59.5	5	98.5
	令和6年	10	10	55.7	5	97.5
	令和7年	20	20	47.7	5.4	92.0
といろ (短期入所)	令和5年	2	41	36.7	4.5	76.6
	令和6年	2	43	34.9	4.7	※127.7
	令和7年	2	37	37.8	4.3	104.0
ハーモニー (生活介護)	令和5年	20	26	45.7	5.4	99.9
	令和6年	20	25	47.4	5.4	98.5
	令和7年	20	27	47.0	5.1	97.0
アイリス (就労継続支援B型)	令和5年	34	34	43.4	—	82.7
	令和6年	34	36	44.6	—	87.5
	令和7年	34	36	44.11	—	88.1
大地 (生活介護)	令和5年	20	26	42.9	4.1	117.1
	令和6年	20	25	42.7	4.1	109.0
	令和7年	20	26	43.3	4.1	111.4
ドリーム あんです (就労継続支援B型)	令和5年	20	20	44.7	—	76.1
	令和6年	20	24	41.6	—	78.0
	令和7年	20	24	42.6	—	87.9
ドリーム だんだん (生活介護)	令和5年	28	37	42.9	4.4	100.5
	令和6年	28	35	45.1	4.3	95.3
	令和7年	20	37	44.9	4.5	99.3
マープル (就労継続支援B型)	令和5年	20	16	46.9	—	58.3

	令和6年	20	16	48.1	—	55.6
	令和7年	20	17	46.7	—	58.6
ぱれっと (放課後等 デイサービス) 多機能型	令和5年	10	5	10.8	—	23.3
	令和6年	10	6	10.6	—	24.8
	令和7年	10	11	11.3	—	57.8
ぱれっと (児童発達支援) 多機能型	令和6年	10	3	4.3	—	8.2
	令和7年	10	3	5.6	—	5.4

※稼働率増加の理由は、長期短期入所の受け入れが特例的に発生したため。

事業所(2)

事業所名	事業種別	契約者数 (名)
わになろう	居宅介護 行動援護 重度訪問介護 訪問介護事業(共生型) 地域活動支援センター 移動支援 日中一時支援 24時間対応型利用制度支援(セーフティーネット) 福祉有償運送 医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業	37 54 0 3 30 57 24 — 211 6
計画相談支援センター虹	計画相談支援 障害児相談支援 自立生活援助	213 9 0

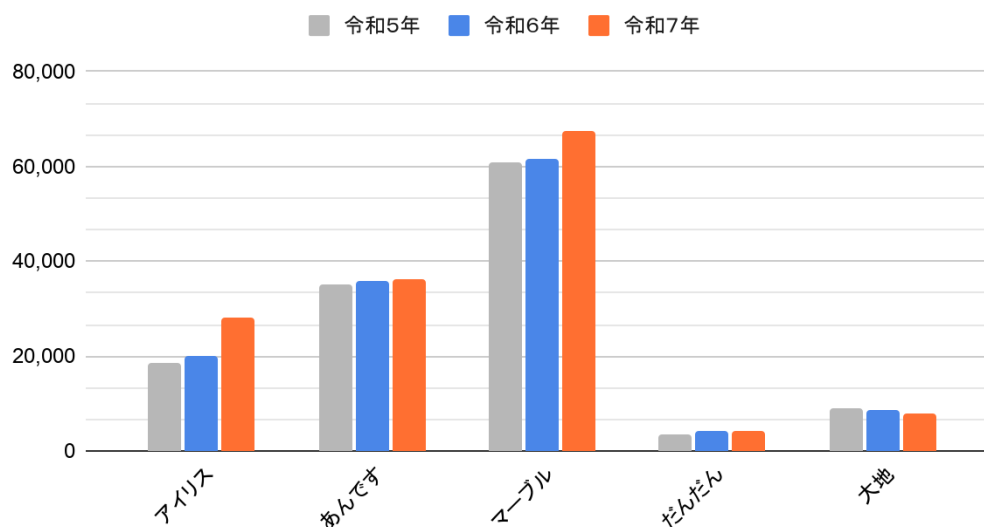
2. 受託事業

高島市障がい者 相談支援センター コンパス	県委託	障害児(者)地域生活ネットワーク支援事業
		滋賀県精神障害者相談支援体制整備事業
		滋賀県発達障害者ケアマネジメント支援事業
		障害福祉サービス事業所専門人材育成推進事業
		障害福祉のしごと魅力発信等事業
		高次脳機能障害圏域ネットワーク事業
就労準備支援 ホップ	市委託	高島市障がい者相談支援事業
		発達障がい者支援チーム事業
		障がい者虐待防止普及啓発事業
	市委託	生活困窮者等就労準備支援事業 参加支援事業 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

3. 就労支援事業

事業所名	年度	契約者数 (名)	就労支援事業収入 (円／年)	平均工賃 (円／月)
アイリス (就労継続支援B型)	令和5年	33	10,299,797	18,654
	令和6年	36	15,467,893	20,003
	令和7年	36	15,603,504	28,081
ドリーム あんです (就労継続支援B型)	令和5年	20	36,062,114	35,122
	令和6年	24	35,767,611	35,791
	令和7年	24	36,082,537	36,166
マーブル (就労継続支援B型)	令和5年	17	10,828,503	61,012
	令和6年	16	13,585,406	61,640
	令和7年	17	13,890,889	67,481
ドリーム だんだん (生活介護)	令和5年	36	2,140,012	3,602
	令和6年	35	2,182,602	4,217
	令和7年	37	2,316,094	4,182
大地 (生活介護)	令和5年	26	3,715,120	8,915
	令和6年	25	3,868,399	8,701
	令和7年	26	3,431,713	7,899

※平均工賃の推移



◆事業の開始および廃止

1. 事業の開始

◎令和7年度事業の開始はありませんでした。

2. 事業の廃止

◎令和7年度事業の廃止はありませんでした。

◆新規建設・大規模修繕等

◎令和7年度の新規建設・大規模修繕等はありませんでした。

◆事故の発生状況

1. インシデント・事故発生件数

単位：(件)

事業所名	(車輛)	(怪我)	(物損)	(事務処理)	(生産活動)	合計
本部事務局	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
事務センター	1(+1)	0(0)	0(0)	1(-2)	0(0)	2(-1)
わになろう	1(+1)	1(-1)	0(0)	1(0)	0(0)	3(0)
ひまわり生活の家	1(0)	0(0)	2(+2)	0(0)	0(0)	3(+2)
といろ	0(-1)	1(0)	0(0)	0(-2)	0(0)	1(-3)
虹	0(-1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(-1)
コンパス・ホップ	1(-2)	0(0)	0(0)	0(-3)	0(0)	1(-5)
ハーモニー	1(-1)	4(+2)	0(0)	0(0)	0(0)	5(+1)
アイリス	4(+1)	3(+3)	0(-1)	0(0)	0(-1)	7(+2)
大地	2(+2)	0(-2)	1(0)	0(0)	0(0)	3(0)
あんです	0(-1)	1(0)	1(+1)	0(-1)	1(+1)	3(0)
だんだん	2(-1)	7(+4)	4(-1)	1(0)	0(0)	14(+2)
マーブル	1(+1)	1(+1)	0(-1)	0(-1)	1(+1)	3(+1)
ぱれっと	0(0)	0(-1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(-1)
合計	14	18	8	3	2	45(-3)

※()記載は令和6年度のと増減件数

2. 事故 レベル(インシデントを除く)

(1)事業所分類

単位:(件)

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	合計
本部事務局	0	0	0	0	0	0
事務センター	2	0	0	0	0	2
わになろう	2	1	0	0	0	3
ひまわり生活の家	1	1	0	0	0	2
といろ	0	0	0	1	0	1
虹	0	0	0	0	0	0
コンパス・ホップ	1	0	0	0	0	1
ハーモニー	5	0	0	0	0	5
アイリス	5	1	0	0	0	6
大地	1	2	0	0	0	3
あんです	1	1	1	0	0	3
だんだん	5	3	5	0	0	13
マーブル	2	1	0	0	0	3
ぱれっと	0	0	0	0	0	0
合 計	25	10	6	1	0	42

(2)種別分類

単位:(件)

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	合計
車輛	9	4	0	0	0	13
怪我(利用者)	7	4	2	1	0	14
怪我(その他)	2	0	0	0	0	2
物損	3	1	4	0	0	8
事務処理	3	0	0	0	0	3
生産活動	1	1	0	0	0	2
合 計	25	10	6	1	0	42

令和7年度のインシデント・事故発生件数は合計45件であり、前年度と比べて3件減少しています。発生した45件の内訳を見ると、「怪我(18件)」が最多であり、次いで「車輛(14 件)」、「物損(8 件)」の順に多くなっています。一方で、「事務処理(3件)」や「生産 活動(2件)」の発生件数は比較的少数に抑えられています。

3. 事故レベル5以上の内容

◎令和7年度レベル5以上の事故は1件発生しました。

※レベル説明

レベル1(インシデントレベル)

レベル2 怪我 念のため通院、物損・車輦・生産活動等 何らかの不具合を生じた

事務・生産活動 何らかの不具合が生じ、関係者・関係機関等に謝罪を要した

レベル3 怪我 通院が必要(縫合・固定処置無し)、物損・車輦 修理必要・保険処理等

事務・生産活動 何らかの不具合が生じ、関係者・関係機関等に丁寧な謝罪を要した

レベル4 怪我 全治14日以内(見込み)の縫合や固定等の処置や入院の必要等

車輦・物損 相応の修理等必要、事務 苦情処理扱い等

事務・生産活動 関係機関・関係者に対して謝罪が必要かつ苦情となるもの等

レベル5 怪我 全治14日以上(見込み)の治療や固定等の処置や入院の必要

車輦・物損 車輦全損レベル、運転手・搭乗者の治療14日以上、故障・廃棄等

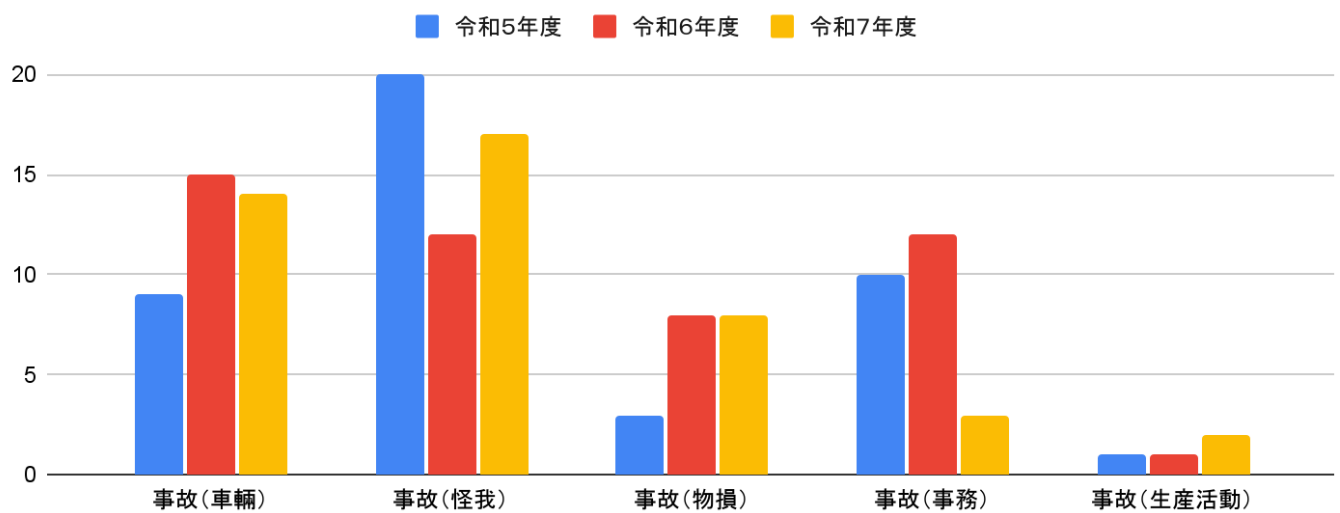
事務・生産活動 広範囲の関係機関・関係者に対して謝罪が必要かつ苦情となるもの等

レベル6 怪我 事故による死亡(原疾患の自然経過によるものは除く)、訴訟等

車輦・物損 事故による死亡、訴訟等

事務・生産活動 法人・生産活動の信用失墜を招きその事故が原因で訴訟に発展

事故の推移(令和5年度～7年度)



◆法人研修(全体・階層別研修)

健康経営研修・障害者虐待防止研修を主軸に法人全体での研修を企画しました。

キャリアパスと連動した階層別研修(内部研修および外部研修)を計画に沿って実施することができました。

開催日	研修名	講師	対象
4月～3月	新人研修23回／全23回	管理職／主任	新卒・既卒採用者
4月	2年目研修 5回／全5回	管理職／主任	採用2年目職員
4月・5月	3年目研修 4回／全4回	管理職／主任／ マイスター	採用3年目職員
4月～9月	階層別外部研修(滋賀県社会福祉研修センター等)	研修センター講師等	対象者22名
6月・10月	ブラザーシスター研修3回/全3回	キャリアコンサルタント	ブラザーシスター担当職員
7月・8月	安全衛生推進者養成講習	労働基準協会講師	担当者2名
9月	コンプライアンス・ハラスメント研修	糺谷社会保険労務士	管理職／主任
11月	法人全体研修	理事長/産業カウンセラー /NPO法人ミニケアホーム理 事長	全職員
5月	管理者研修	事務局長	管理職昇格者
6月	指導者研修	管理職	主任昇格者
6月	数字力養成講座	事務センター職員	主任昇格者
6月	副主任として	管理職	副主任昇格者
12月	特定個人情報取扱研修(オンデマンド配信)	IT顧問	事務職員
2月	実践報告会	職員/専門職より講評	全職員
3月	個人情報保護法研修(オンデマンド配信)	IT顧問	全職員

◆地域における公益的な取組の状況

1. 地域における公益的な取組

地域における公益的な取組事業	実施内容
はたらく体験	実人数は10名、延べ実施回数は196回。ひきこもりの人の社会参加支援という観点から効果は大きいと考えています。今年度の体験メニュー（主なもの）は以下のとおり。 ・事務作業 ・品出し、食洗等の軽作業 ・高島市内の端材を有効活用した玩具の加工作業（積み木）
虹カフェ	平日9:00～17:00、通年で運営しています。実人数は57名、延べ利用者数は221名でした。生きづらさ、働きづらさを抱える方々が支援者となつながら場所として、またホップ・ふれホップOBの方々の居場所として機能しています。

2. 話題提供および視察研修の受け入れ状況

◎令和7年11月27日 長野大学からのヒアリング調査協力（ふれホップの取り組み）

◎令和7年11月28日 甲賀市社会福祉協議会の視察研修にて、ふれホップの取り組み説明

◎令和8年2月27日 高島市認知症支援ネットワーク会議にて事例報告（若年性認知症の人のふれホップ利用に関して）

◎令和8年3月25日 彦根市の視察研修にて、ふれホップの取り組み説明

◆各事業部からの報告(別紙)

	達成状況		
	○達成	△一部 未達	×未達
本部事務局	9	0	0
事務センター	8	1	0
第1事業部 (アイリス、マーブル)	8	2	0
(大地)	9	1	0
第2事業部 (ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん)	10	0	0
第3事業部 (ハーモニー、わになろう、ぱれっと)	8	2	0
第4事業部 (ひまわり生活の家、といろ、計画相談支援センター虹)	10	2	0
第5事業部 (高島市障がい者相談支援センターコンパス)	10	1	0
(ホップ)	5	2	0

令和7年度事業報告書



〒520-1521 滋賀県高島市新旭町北畑45番地

電話 0740(25)8220 FAX 0740(25)8221

ホームページ <http://www.shiganijinokai.net>

メールアドレス info@shiganijinokai.net